

「 美術 I 」	教 科 学科、学年、組	芸 藝	単 位 数 機械・航空産業・自動車・電気 3 学年 1 ~ 4 組	2 単 位
使用教科書	「 美術 I 」 (光村図書)			
副教材等	なし			

### | 科目のねらい (目標)

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通じて、造形的な見方や考え方を働きさせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。 1、 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようとする。 2、 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。 3、 主題的に美術に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
---------	---

### 2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれ A B C で評価し、各観点の割合を基に評定（5段階）で総括します。

評価の規準 A : 十分満足できる、B : おおむね満足できる、C : 努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	35	作品ワークシート
思考・判断・表現	・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	35	作品ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	30	作品ワークシート 課題への取組姿勢

### 3 学習計画

学期	学習 内 容	学習 の ね ら い
1	・オリエンテーション ・表現/自己紹介シート ・表現/身近なものを描く ・鑑賞/組み合わせる ・表現/版画の技法 ・表現/シルクスクリーン制作	・美術やデザインを学ぶ意義を理解している。 ・描画材の特性を生かした表現ができる。 ・アイデアを考え、形にすることができる。 ・作品を鑑賞し、想いを伝えることができる。
2	・鑑賞/版画 ・鑑賞/メッセージを広く伝える ・表現/アクリル絵の具で描く ・表現/色面構成 ・鑑賞/デザイン	・描画材の特性を生かした表現ができる。 ・アイデアを考え、形にすることができる。 ・作品を鑑賞し、想いを伝えることができる。
3	・鑑賞/枠や点で描く ・表現/モザイクアート ・鑑賞/スプーンのデザイン ・表現/彫塑・彫刻	・枠や点ならではの効果を考え、独創的な描き方ができる。 ・立体構造を理解し、美しさを追究している。 ・自己を超えて他者の趣向を理解している。 ・グループワークにおいて意欲的に参加している。 ・実用することができる。